



昔のくらしと家庭の道具の道具展

「未来のだるまちゃんへ」文藝春秋刊



かこさとしプロフィール



1926年福井県武生市(現・越前市)に生まれる。東京大学工学部応用化学科卒業。工学博士。技術士(化学)。児童文化の研究者でもある。大学卒業後、民間企業の研究所に勤務しながら、セツルメント活動に従事。子ども会で紙芝居や幻灯などの作品を作り、59年『だものおじさんたち』で絵本作家の道へ進む。代表作に『だるまちゃん』、『からすのパンやさん』、『どろぼうがっこう』など。『かわ』、『海』といった科学絵本のほか、『伝承遊び考』など著書は600点以上にのぼる。2008年菊池寛賞、2009年日本化学会より特別功労賞受賞。2013年福井県越前市に『かこさとしふるさと絵本館「砾(らく)』が開館し、2018年には武生中央公園(「だるまちゃん広場」など)を監修した。



世界を、いっしょに楽しみましよう！

「だるまちゃん」と「んぐちゃん」や「からすのパンやさん」など、皆さんが一度は目にしたことがある絵本の作家かこさとしは、50年以上にわたりおはなしの絵本やかがくの絵本などたくさん作品を発表し続けました。物語をつくるようになったのは、1950年代の川崎市でのセツルメントと呼ばれる活動がはじまりです。子どもたちに作文や絵の描き方を教えるほか、自分でも紙芝居や幻灯をつくって、子どもたちに読み聞かせていました。このときの体験が、のちの絵本づくりに大きく活かされています。本展では、かこさとしが生み出した作品を一堂に集め、そのひみつに迫ります。「だるまちゃん」「シリーズや」「からすのパンやさん」の一場面をはじめ、「どろぼうがっこう」、『また』『かわ』や『たべものたび』など科学絵本の全ての場面を展示するほか、ひみつのキーワードとなる「見る」「知る」「学ぶ」そして「食べる」場面を中心に展示します。川崎の子どもたちとの出会いから花開いたかこさとしの世界を、いっしょに楽しみましよう！

今から約100年前、電気・ガス・水道といったライフラインは全ての家庭で使えるものではありませんでした。そのため当時の人々は、掃除や洗濯といったくらしに必要なことを手作業で行っていました。戦後一九五五年〜七三年にかけて、高度経済成長をむかえ、世の中が豊かになると、人々のくらしは大きく変わりました。各家庭にライフラインや電化製品が行きわたったり、家事はこれまでより手間も時間もかからないものへ変わっていきます。本展は、このような人々のくらしと家庭の変化について、かつて川崎市内で使われていた生活用品の展示・茶の間や囲炉裏の再現模型・体験コーナーを通してご紹介します。日々のくらしと生活道具、そのつながりかわりをご家族でふりかえってみてはいかがでしょうか。

関連イベント

| | |
|----------------------------------|--|
| 学芸員による展示解説 毎月第1・3土曜日 | 日時：7月7日・21日、8月4日・18日、9月1日 各日13時30分～ 会場：2階 企画展示室2 |
| ナイト・ミュージアム! 担当学芸員による大人向けギャラリートーク | 日時：8月4日 土 17時～ 会場：2階 企画展示室2 |
| ベビーカーツアー | 日時：8月2日 木 11時45分～(30分程度) 会場：2階 企画展示室2 対象：未就学児とその保護者 定員：6組程度(先着順) 参加費：無料 申込：当館HPの申込フォームにて7月1日(日)9時30分～より受付 |
| 運動ミニホール上映 各日10時30分～14時30分 | 日時：7月20日 金 「煙突の見える場所」 (新東宝/昭和28年/108分/モノクロ/監督：五所平之助/主演：田中絹代・上原謙) 7月21日 土 「宗方姉妹」 (東宝/昭和25年/112分/モノクロ/監督：小津安二郎/主演：田中絹代・高峰秀子) 7月22日 日 「めし」 (東宝/昭和26年/97分/モノクロ/監督：成瀬巳喜男/主演：上原謙・原節子) 会場：3階 ミニホール 定員：各回40名(当日先着順) ※参加費・申込不要 |

※ 展覧会のお手伝いをしてませんか？ 企画展ボランティア募集中！ 詳細はHPにてご確認ください。



- 武蔵小杉駅 (JR南武線・横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線) からバスで約10分
 - 北口1番乗り場から川崎市バス [杉40] 市民ミュージアム行 終点下車 [杉40] 中原駅行「市民ミュージアム前」下車すぐ [溝05] 溝口駅前行「市民ミュージアム前」下車すぐ
 - 南口「東横線小杉駅」バス停から東急バス [川133] 市民ミュージアム行 終点下車
 - 横須賀線口2番乗り場から東急バス ※土曜・休日のみ [杉05] 市民ミュージアム行 終点下車
- 溝の口駅 (JR南武線、東急田園都市線・大井町線) からバスで約20分
 - 北口3番乗り場から川崎市バス [溝05] 小杉駅行「市民ミュージアム前」下車すぐ
 - 北口5番乗り場から東急バス [溝02] 小杉駅行「市営等々力グランド入口」下車徒歩8分
- 川崎駅 (JR) からバスで約40分
 - 川崎駅ラゾーナ広場82番乗り場から東急バス [川133] 市民ミュージアム行 終点下車

※ 当館に専用駐車場はありません。お車で越しの方は等々力緑地内駐車場(有料)をご利用ください。駐車料金の割引等はございません。

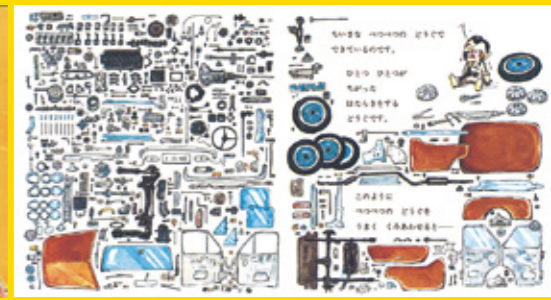
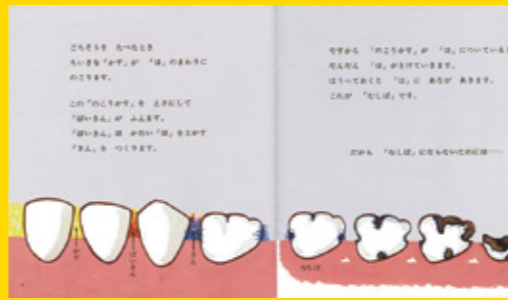


〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内)
TEL:044-754-4500 FAX:044-754-4533
HP: http://www.kawasaki-museum.jp/



本展準備中の5月2日にかこさとし先生が92歳でご逝去されました。謹んで心からご冥福をお祈り申し上げるとともに、かこ先生が作品に込めてきた想いを改めて多くの方に感じていただければ幸いです。

右から『どろぼうがっこう』(偕成社刊©1973, Satoshi KAKO) 『からすのパンやさん』(偕成社刊©1973, Satoshi KAKO) 『どろぼう』(福音堂刊) 『たべものたび』(童心社刊) 『ははのはなし』(福音堂刊) Illustrations ©Kako Research Institute Ltd.



関連イベント

- ベビーカーツアー * 7月19日(木)11:45～(30分程度) 企画展示室1/0歳～未就学児とその保護者/親子6組/要観覧券 7月5日(木)応募締切
- 対話型鑑賞ツアー「オシャベリ鑑賞会」* 7月21日(土)14:00～15:00 企画展示室1/5歳～小学生とその保護者/親子10組/要観覧券 7月7日(土)応募締切 [協力]アート・コミュニケータ東京
- 光しよくばいワークショップ * 7月28日(土)14:00～15:00 研修室2/小学5～6年生とその保護者/親子5組/参加無料 7月14日(土)応募締切 [講師] 地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) 落合剛生ほか、東京理科大学 サイエンスコミュニケーションサークルちびらば



● だるまちゃん音頭をおどろろ!

かこさとし先生が作られた「だるまちゃん音頭」を、愉快な動きと一緒に楽しく踊ります。踊る前に造形作家・早末恵理氏作の大型仕掛け絵本『だるまちゃん』の読み聞かせがあります。 8月6日(日)14:00～15:00 道運展示空間/当日直接会場へ/先着100名/参加無料 [協力]造形作家・早末恵理、株式会社福音堂書店

● 『からすのややおやさん』で経営のおはなし *

8月11日(土・祝)14:00～15:00 研修室2/小学3年生以上とその保護者/親子12組/参加無料 7月28日(土)応募締切 [講師] 星城大学 経営学部教授 鈴木愛一郎

● ナイト・ミュージアム! 担当学芸員による大人向けギャラリートーク

8月18日(土)17:00～17:30 企画展示室1/当日直接会場へ/要観覧券

● かこさとし幻灯上映会

かこさとし先生が1950年代に川崎セツルメントの活動で作られた幻灯を上映します。絵本化していない作品もご覧いただける貴重な機会です。 8月19日(日)14:00～15:00 映像ホール/定員270名/当日先着順/参加無料 上映作品:『ぼくのかあちゃん』——1954年 15分 『自転車にのってつたお父ちゃん』——1956年 15分 『わっしょい わっしょい ふんぶんぶん』——1954年 15分 [協力]一般財団法人大阪国際児童文学振興財団特別専門員、早稲田大学演劇博物館招聘研究員 賀谷花

● 『からすのパンやさん』おつかい大作戦! *

絵本のお話を遊ぶ、ストーリー・オリエンテッドです。絵本の中にいたいろんなからすさんが話しかけてきますよ! からすさんのために買い物に出かけましょう! 8月25日(土)14:00～16:00 道運展示空間/3歳～小学生とその保護者/親子12組/参加無料 [講師]造形作家・早末恵理 [協力]越前市かこさとしふるさと絵本館「砾(らく)」

● ギャラリートーク *

9月2日(日)14:00～15:00 企画展示室1/当日直接会場へ/要観覧券 [ゲスト]有限会社古古総合研究所 鈴木万里

* マークのイベントはHP (http://www.kawasaki-museum.jp/event/) よりお申し込みください。応募多数の場合は抽選のうえ、結果は応募締切後1週間をめぐりにメールでお知らせします。